

平和の大切さ

栄小学校 六年 宮崎 香乃

私は、平和の大切さを学びに二日間広島県に行きました。広島県では主に四つの場所に行きました。そこで、私は改めて平和について考えることができました。

一つ目は、平和資料館です。資料館には、原爆のことや、当時の写真、服などたくさんのが物が展示されています。特に、服をみてこわさを感じました。全部の服が熱風でこげて茶色になっていました。そして、だいたいの服にかけているところがありました。そのことから、こわさを感じました。もう一つ心に残った物があります。それは、当時の写真です。写真には、被爆者が映っていました。ひどいものには、火傷ができている人もいました。私は心が複雑な気持ちになりました。二つ目は、原爆ドームです。原爆ドームは、昔からつかわれていた建物です。ここは、美術展など、さまざまな場面で使われています。

た。原爆ドームが、現在のすがたで残っている理由は、ほぼ真上から爆風が当たったからだそうです。原爆ドームの大きさは、昔と比べると半分ぐらいがなくなっただけで残っています。がれきは、大きな物でも遠くまで飛ばされていきました。爆風は三十五トンほどあつて、これはゾウ三十五頭分がのしかかったぐらいの重さです。

三つ目は、爆心地です。爆心地は島病院という所です。原爆は地上六〇〇メートルで爆発しました。島病院の、丸いまどのわくが残ったぐらいで、後はだいたいくずれていました。

四つ目は原爆の子の像です。原爆の子の像には、「平和な未来への夢」という願いがこめられています。そして、像の下には岩に、「これはぼくらの叫びですわたしたちの祈りです世界に平和をきずくための」と刻まれています。うしろには、たくさんの千羽鶴があります。像のモデルになった禎子さん。禎子

さんは、十二さいで原爆の後遺症ともされる
白血病により死んでしまいました。けれども
これをきっかけに、禎子さんの同級生たちが
「原爆で亡くなったすべての子供達のために
いれいひをつくろうと」と、呼びかけば金活
動が始まりました。そして、世界の人々から
の支えにより、像は完成しました。私は、同
級生のやさしさと、いれいひをつくるという
考えがすごくいいなと思いました。

私は、広島県に行って改めて平和のすばら
しさを考えられました。私は、これからはど
んな小さな平和でもひろめていきたいです。
みんなが、こんな意見をもったらどんどん大
きな、平和になっていきます。みなさんも、
平和について改めて考えてみて、平和をつく
ってください。